

多摩平の森て・と・てテラス

多摩平団地（多摩平の森） 団地再生事業

経 緯

- 昭和33年 多摩平団地完成（2,792戸）
平成8年 3者勉強会（自治会、市、UR）開催
平成9年 多摩平団地建替事業着手
平成19年 賃貸住宅の建替、戻り入居完了（1,528戸）ほか都営住宅162戸
平成20年 「多摩平団地建替事業の整備敷地における総合的なまちづくりに関する基本協定書」の締結
平成22年 多摩平の森地区重点地区まちづくり計画策定 整備敷地の公募開始
平成23年 公共公益施設等整備計画検討委員会開催（全5回）
平成24年 A街区公共公益施設等整備構想策定、日野市からURへ協力要請
平成27年 URがA3街区（現在の多摩平の森て・と・てテラス）公募開始

土地利用計画



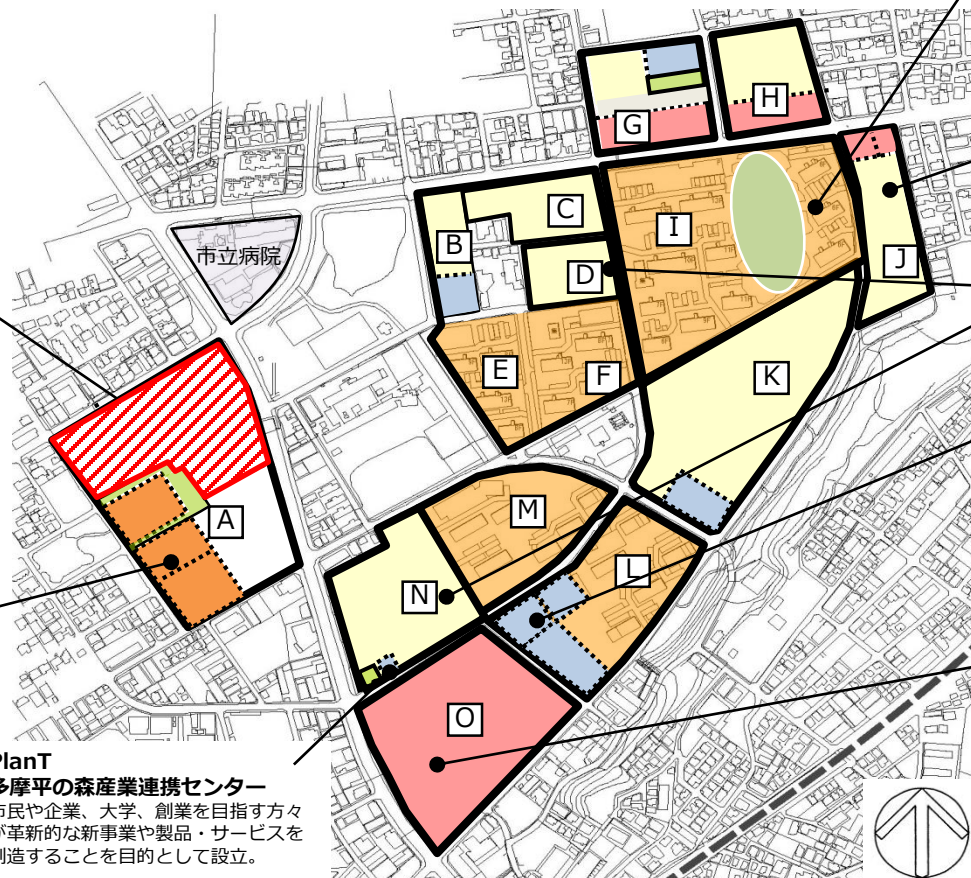
医療・福祉・交流施設
医療福祉系の施設を中心に誘致し、住み慣れた地域で生き、看取られる暮らし・福祉・医療のまちづくりを推進。



住棟ルネッサンス事業
既存住棟を活用し、民間事業者による多様な住宅を運営。



PlanT
多摩平の森産業連携センター
市民や企業、大学、創業を目指す方々が革新的な新事業や製品・サービスを創造することを目的として設立。



UR賃貸住宅
多摩平の森
住棟：6～13階建30棟
管理戸数：1,528戸
敷地：約11ha



民間事業者による戸建・集合住宅



ふれあい館
図書館・児童館、集会所、子ども家庭支援センター等の日野市の公共施設。



イオンモール
多摩平の森
多摩平の森地区重点地区まちづくり計画に基づき、商業施設を整備。利便性向上を図り、持続可能なまちづくりを推進。

A街区（現多摩平の森で・と・てテラス 公共公益機能整備に関する基本コンセプト）

- ・「多摩平団地建替事業の整備敷地における総合的なまちづくりに関する基本協定」（H20年12月）
- ・「多摩平の森重点地区まちづくり計画」（H22年11月）
- ・上記の位置づけに基づき、多摩平の森整備敷地A街区において民間事業者による公共公益機能整備を誘導する。
- ・高齢福祉施設（特別養護老人ホーム）、保育施設（保育園）など基本協定上位置づけのある施設は積極的に誘致する。

Aブロック（多摩平の森で・と・てテラス） 持続できる地域、世代交流の醸成

1. まちの活性化 様々な世代が暮らす賑わいのある多摩平の再生
2. 3世代の地域の絆を深めるまちづくりの仕組み、仕掛け
3. 持続可能な地域の醸成 自助・共助・互助・公助 の役割分担
4. 医療・介護機能の充実と連携 市民へのシームレスなサービス提供の実現

多摩平の森 て・と・てテラス

医療福祉施設を中心として、多世代の交流を誘導する商業文化機能や生涯学習・地域交流機能が複合的に連携する街区。日野市の公共公益等整備構想に基づき、地域包括ケアシステムのモデルを構築する拠点とした位置付け。

多摩平の森て・と・てテラス

●ひの社会教育センター

教育・文化・福祉・スポーツ国際交流と多種多様なテーマについて学べる生涯学習施設。



●多摩平の森の病院

療養病棟のほか、認知症疾患医療センターや認知症カフェなど医療介護連携のハブとなる。



●特別養護老人ホーム花子

公的な介護サービスとして入居できる医療型特別養護老人ホーム



●日野市医師会

市民の健康を促進する各種事業を行い、休日準夜間診療所を併せ持つ。



●Tomorrow PLAZA

健康増進複合施設

健康増進施設、コミュニティ交流施設、一時医療施設。



●て・と・てお広場

既存樹木を保全・活用した交流広場



事業者主催で多世代交流イベントを実施



●栄光多摩平中央保育園

定員120名の認可保育所



多摩平の森で・と・てテラスの成立ち

『多世代の人々が笑顔で行交うまち・・・多摩平の森で・と・てテラス』

当初、別々の事業公募等を経て集結した、各々の事業目的を持った6つの法人。

お互いの事業種別の違いから暫くは議論も儘ならなかったが、
UR都市機構と日野市主導のデザイン調整会議及び管理分科会と並行して
事業者間のみの会議体(※)を発足。

この事業者間会議では、「できることから少しずつ」という行動指針を掲げ、
また、皆が常に立ち返ることができる街区の基本理念を確立し、お互い意思統一。

お互い支え合うことの大切さを事業者が互いに理解し合い、
まちの名前を「多摩平の森で・と・てテラス」と命名。(2017.11まちびらき)

これからも、地域に拡がる

①健康・医療・福祉のつながり

②多世代の交流・育成

を、地域及び事業者連携を持続していくなかで深めていきます。



Since 2017

デザイン調整会議

デザイン調整会議は、UR都市機構・市が調整事務局となって、公募条件で示したガイドラインで街区全体・隣接街区間で調整が必要となる以下に示す建物のファサード、色彩、外構計画、サイン等、デザインに係る全般的なことについて、事業者を含め協働で調整し、承認していく場です。

調整会議には地盤調整分科会と施工分科会を設置し、各事業者の建物整備に係る設計者や施工者を含め、全体調整を行いました。

また、管理運営会議では、屋外の管理や広場等の敷地内で行なう共同のイベント、災害時対応について調整を行いました。

デザイン調整会議（H27.7～H31.3 計24回実施）

A3街区建物のファサード、色彩、外構計画、サイン等、デザインに係る全般的なことについて日野市・選定事業者・UR都市機構で調整

地盤調整分科会（H27.8～H28.9 計5回実施）

市のユニバーサルデザイン推進条例に基づいた各街区の地盤高さの摺り合わせ等の調整

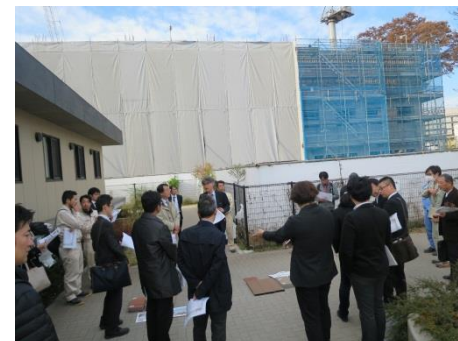
施工分科会（H28.5～H28.9 計5回実施）

歩道状空地や電柱工事、側溝工事等について施工時期や整備費の支払い分担等の調整



管理運営会議（H28.1～H30.3 計20回実施）

A3街区の施設開設後の屋外の管理や広場等の敷地内で行なう共同のイベント、災害時対応等について日野市・選定事業者・UR都市機構で検討

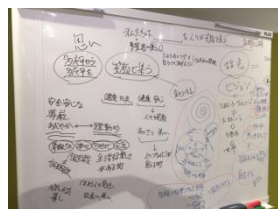


事業者間会議

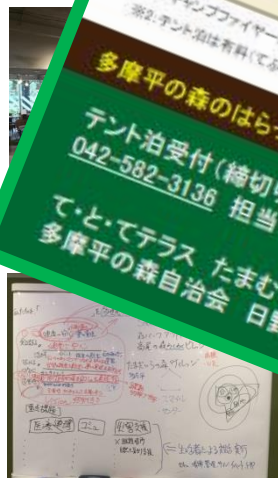
【事業者間会議の経過】

- 2016/07/26 管理分科会と並行して事業者間
⇒以降、月1回程度の会議を
- 2017/01/19 て・と・てテラスのロゴを地域の小
2017/02/02 11月のまちびらきイベントの計
2017/11/19 「多摩平の森て・と・てテラス」
⇒以降、月1回程度の会
2018/04/20 1周年の記念に、日野市
⇒翌月、まちなかキャン
2018/11/03-04 て・と・てテラス1周
2018/12/04 て・と・てフェスタ及び第
⇒以降、月1回程度
2019/03/27 生涯活躍のまち委
2019/06/11 2周年合同イベ
⇒以降、2周年
2019/11/03-04 て・と・てテラス

【会議風景と記録】



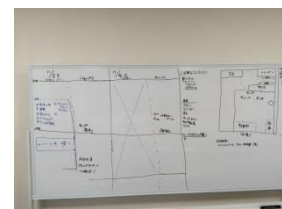
2016年



2017年



2018年



2019年



多摩平の森の中の樺とはらっぱ
てとてフェスタ
家族や仲間とキャンプを楽しもう
2019.11.3-4 (SUN-MON)
「多摩平の森」地域の共同イベントです。
キャンプ体験や広場イベントを通じて、
多世代の方々が笑顔で行交う空間に！

【広場イベント】
会場：てとてお広場
11/3(日) 10:00~16:00
スマホ de かくれんぼ
イベントステージ
カボチ・リコーダー・輪車 他
出張オレンジカフェ
おひさま手づくり市

【キャンプ体験】
会場：テントサイト
11/3(日) 11:00集合
テント設営
夕食づくり(カレー他)
キャンプファイヤー※1
テント宿泊体験※2
ブルでカヤック体験
11/4(月) 12:00解散

※1: キャンプファイヤーは天候や消防推進により中止になる場合があります。
※2: テント泊は有料(てぶらプラン1人1,000円(軽食付)、素泊り1人300円(テント持込))

多摩平の森のはらっぱで、「この日限定の独創的な空間」をお楽しみください！
テント泊受付(締切り 10/24 多数応募の際は抽選)
042-582-3136 担当: 阿部(ひの社会教育センター)
てとてテラス たまむすびテラス
多摩平の森自治会 日野市 UR都市機構 協力

多摩平の森て・と・てテラス
2周年♪

(別添、覚書参照)

。第二期開始

キャンプを他エリアにも展開する旨決定

てとてテラス 地域連携による健康・医療・介護の環境づくり

○日野市や自治会と連携・協力し、団地の豊かな屋外空間を継承しながら、団地再生により、多様な住宅や、医療・介護・生活支援施設やサービスを整備しています。

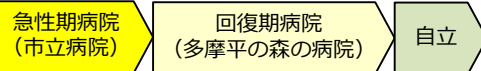
○生涯学習や文化交流拠点の整備や、団地内集会所をふれあい交流活動の拠点として活用することで、コミュニティ醸成・地域づくりを行い、健康増進・介護予防を推進しています。

○医療・介護連携の推進により、地域で自分らしく暮らし続けられる環境を目指しています。

医療・介護連携に向けた施設整備

・回復期病院の開設

急性期病院退院後のリハビリテーションを提供し、機能回復や残存機能の維持・向上を図る。また、短時間デイケアや訪問リハビリテーションでは生活に着目した訓練により、自立に向けてサポート。



・日野市医師会館の移転

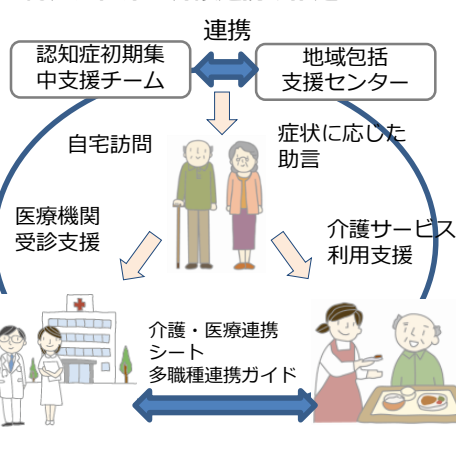
医療介護福祉分野へのサービス提供のほか、平日準夜間診療所により、急病時に対応。災害時は市立病院と連携して緊急医療救護を行う。

認知症ケア

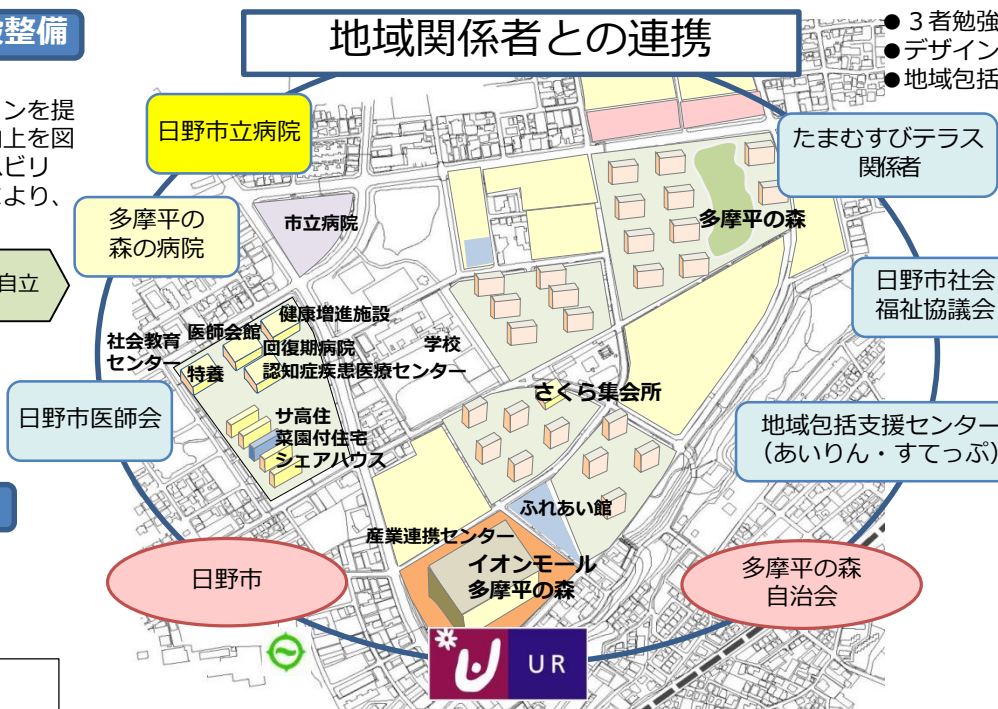
・医療連携型認知症カフェの開設

多摩平の森の病院内「森の茶屋」で、認知症の方、家族、介護者が医療や介護に関する相談ができる場所を提供。

・認知症医療・介護連携の推進



地域関係者との連携



- 3者勉強会（自治会・日野市・UR）
- デザイン調整会議（事務局：UR）
- 地域包括ケア会議（事務局：地域包括支援センター）



多様な世代の交流

- ・保育園～特別養護老人ホーム
- ・隣地の多様な住まい「たまむすびテラス」（シェアハウス、菜園付住宅、サ高住コミュニティ食堂）



健康増進・介護予防

- ・プール活用の生活支援型介護予防
- ・健康増進施設の整備
- ・サークル活動参加による心の健康も充実



暮らしやすい環境・利便性

- ・建替えによる居住水準の向上
- ・ユニバーサルデザイン化
- ・商業店舗、飲食店、薬局、カフェ、レストラン等生活利便施設の配置
- ・緑あふれる自然環境豊かな環境



生涯学習・コミュニティ醸成

- ・生涯学習（社教センター）、文化・音楽ホール、スポーツ施設、学習塾の育成空間をつなぐ空中回廊
- ・アフタースクールカフェの日々色とりどりの多彩なイベント



事業開始迄の当該地区の写真

地域の子供たちからまちのロゴマークを募集！

まちびらきにて、市長がロゴマーク応募の子供たちを表彰



持続的な運営体制構築

子供たちの作品を
市民投票によりロゴ決定

照明や植栽をデザインリレー
まち全体の風景を統一



事業後の当該地区の写真①



既存樹木の残存、菜園のフル活用にて
環境に配慮した緑豊かな空間づくりを推進



今年TV放映の
チアダンの舞台に



てとてお広場は
イベントを通じて
賑わいを創出



街区内の音楽ホールは、文化・音楽活動やイベントが盛ん



広く居心地良いビアガーデンが交流を生む

事業後の当該地区の写真②(てとてフェスタ風景)

てとて事業者 & 地域自治会 & 日野市 & UR & 近隣 & 高齢者ボランティア

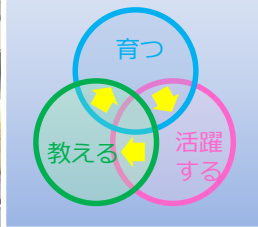


かまどベンチ利用の
アメリカンドッグつくり



里芋ほりの自然体験

多摩平の森の循環



地域ボランティアの方々
による手作り体験

秋 てとてフェスタ



一夜のまちなかキャンプファイアは
地域の子供たちの感動体験の場に

UR所有地活用の官民一体イベント まちなかキャンプの実現

多摩平の森の中の種とはらば
てとてフェスタ♪
2018.11.3(SAT)
「多摩平の森」地域の共同イベントです。
キャンプ体験や広場イベントを通じて、
多世代の方々が笑顔で行交う空間に！

【広場イベント】
11/3(土) 13:30～16:00
会場：てとて広場
かまどベンチやアメリカンドッグ作り
お子様でもできる多世代作品体験
など、多世代の皆さんが笑顔で行交う空間に！

【キャンプ体験】
会場：多摩平の森
11/3(土) 16:00～18:00
お子様でもできる多世代作品体験
など、多世代の皆さんが笑顔で行交う空間に！

【スターイベント】
11/3(土) 18:00～20:00
会場：多摩平の森
お子様でもできる多世代作品体験
など、多世代の皆さんが笑顔で行交う空間に！

多摩平の森の森の循環とはらば、この日限定の自然の循環、森の循環にのめり込め！
多摩平の森の森の循環とはらば、この日限定の自然の循環、森の循環にのめり込め！

予約不要です！お気軽にお立ち寄りください！
当日の申し込みも歓迎です！
お問い合わせ先：0429-85-1111 日野市 総合市民センター
主催：てとて事務局
共催：多摩平の森の森の循環とはらば、この日限定の自然の循環、森の循環にのめり込め！

事業後の地区周辺の写真

夏 夕涼み会

多摩平の森自治会、たまむずびテラスの地域交流にて・と・てテラスも参加



隣地たまむずびテラスのさくら祭や餅つきをお手伝い

多摩平の森の自治会は交流の場がたくさん

生涯活躍のまち・人生100年時代のライフイノベーションの取り組み展開イメージ

人生100年時代を踏まえたセルフマネジメント、ライフイノベーション（自らの暮らし方の変革）をテーマとした取り組みを3つのモデル地区で展開

多摩平の森地区2018年度

U R: つながるヘルスケアシンポジウム / 健康啓発・コミュニティ
A事/市: てとてフェスタ (キャンパイベント) / 多世代交流
自治会他: スナック森の泉 / 役割・居場所、コミュニティ
市: リビングラボ (シェアリングエコノミー) / 多世代互助・企業連携
市: リビングラボ (モビリティ/移動・企業連携)

多摩平の森地区2019年度

U R:
A事: てとてフェスタ
自治会他: スナック森の泉② / 役割・居場所、コミュニティ
市: リビングラボ (シェアリングエコノミー) ② / 多世代互助・企業連携
食(職)セミナー
地域みまもりあいプロジェクト

平山地区2018年度

東薬大・連携企業: 認知症の早期発見 ② (検査)

平山地区2019年度

東薬大・連携企業: 認知症の早期発見 ③ (検査)

市・連携企業: 食(職)の場づくり
ハウス食品・ヘルシーフード・大塚製薬
A事/市: ひらやま (キャンパイベント) / 多世代交流
多摩信金: リバースモーゲージ/人生100年セミナー
医療機関: フレイル予防
市: リビングラボ (シェアリングエコノミー) / 実証
市: リビングラボ (モビリティ/移動・企業連携/実証)

みまもりあいプロジェクト

高幡台地区2019年度

市・連携企業: 食(職)セミナー ハウス食品 ほか
市・A事・UR: 団地キャンパイベント
市: リビングラボ (モビリティ/移動・企業連携/実証)
※都市計画課 高幡台団地のグランドデザイン

みまもりあいプロジェクト

高 幡 台

平 山 台

多摩平の森

0.0 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 km

「SDGs未来都市」 日野市の提案について

日野市では都内初のSDGs未来都市を目指して2019SDGs未来都市に選定されました。社会面の取り組みとして、“人生100年時代共創リビングラボ”の実施を位置付けております。

社会面の取り組み



持続可能な 開発目標 SDGs Sustainable Development Goals



Project 2-1 人生100年時代共創リビングラボの実施

人生100年時代の循環型生涯活躍のまちづくり

- ・ 2016年度から高齢化する郊外型住宅都市（ベッドタウン）において、人生100年時代における新たなまちづくりをマルチステークホルダーで実現していくため、「地域居住循環型生涯活躍のまち事業」として実施。（市内や近隣に立地する住まい・鉄道・ヘルスケア・食関連の事業会社・研究開発部門や地域金融機関、医療・介護事業者、市民、大学、行政が参加）
- ・ 人生100年時代における持続可能な暮らしの実現をテーマに、「議論から実践」に軸足を移していく。具体的な地域において社会実証と参画の取り組みを実施していく。

「私」視点による個人のエンパワーメントを実現するリビングラボ

- ・ 対話による産官学民の共創の場として実施してきたリビングラボを、市民という個人の力を活かすツールとしてさらに活用する。
- ・ 「私自身」を起点に地域課題を細分化し、さらに企業が持つリソース（専門的な知見・新技術）をつなげていくことで、自分事による課題解決を支援する。企業にとってはどのような使い方・ニーズがあるのかを学び合うことができる場とする。

Business Boot Camp 2016 session 02



生活課題を「私のわがまま」として、そのシェアから開始。シェアエコをキーワードに、個人のニーズとリソースを掘り下げることで、企業・住民・行政が協働する意識を醸成。



日時	テーマ
2019年 1月19日	私の生活で感じる、「あんなこといいな、できたらいいな」と思っていることは？
2019年 2月3日	その解決にはどんな資源があればいい？
2019年 3月3日	ニーズと資源がつながるためには、どんな活動があればいい？

1. 実施前の各主体の状況（例）

企業	住民	行政
社内のストーリーに基づく商品・サービスを提供。	サービスは誰かが提供するもの。（弱い存在）	若い住民は皆、まちづくりへの参加に消極的。

2. 実施後の各主体の状況

企業	住民	行政
商品・サービスが実現する価値が重要。	自分もリソースを持っているかも？条件も重要。	住民が参加したいと思える活動のデザインが必要。

【わかってきたこと・残された課題】

- ・スキルシェアができる条件（他人との距離感・コスト）の深掘りも更に必要
- ・協働を実現するための準備として、対話は継続していくことが重要

小規模な実証実験
を検討中



個々の住民の生活需要と社会参画・活動意識を踏まえ、多世代や地域がつながる“仕組み”を検討しています。

※総務省2019年度シェアリングエコノミー活用推進事業 “多世代型スキルシェア推進事業”として採択

笑顔で行交うまち、健康で住み続けるまち

2019年9月



多摩平の森自治会「さくら集会所」にキッズ終結！

認知症啓発イベント「ラン伴」のGOAL

多摩平の森で・と・てテラス
皆様のお越しをお待ちしております